

ゆうゆう祭り

発行日
 平成十六年
 八月三十一日
 第三十八号

夏祭り!!

ちんどんコンクール

本場富山のちんどんマンのメロデーに合わせて孫悟空やカッパ等に扮した職員や利用者が会場を練り歩きました。ちんどんマンが奏でる音楽は美空ひばりの「川の流れるように」等の馴染みの曲ばかりで祭りの雰囲気醸し出すのに一役も二役も買っていました。



みんなで仮装しました



“ウタエヨー、ワシャハヤスー”

おっす、オラ悟空!

祭りはよいちゃ!



カラオケ
 盛り上がりもピークの中、ゆうゆうの歌姫開田さんによるカラオケ歌謡ショーを行いました。皆さんもなじみのある曲で心も体も自然に動いていました。

夏祭り・盆踊り

浴衣姿も涼しげに松葉会による盆踊りがありました。石動音頭や越中おわら節など馴染みの曲に次々と踊りの輪が広がり賑わいました。



射撃や輪投げなど数多く出店(上)

大勢のボランティアの方々にも手伝ってもらいました(左)

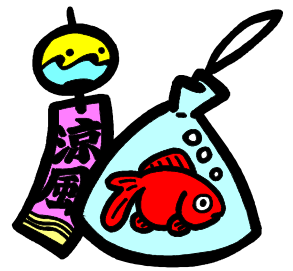


よさこいソーラン メンバーより
 燃えました!(鷺)
 終わったー(高)
 楽しく踊れた(中)
 間違えちゃいました(竹)
 張り切って踊っちゃいました(桃)
 いい汗かきました(山)
 アンコールが欲しかった(萩)
 ドキドキした(野)
 来年は引退です(畑)
 よさこい最高!(石)
 浴衣がかわいくてよかった(藤)



バナナの叩き売り 尾ヶ口
 バナナの叩き売りは今回が初の試みであったが、以外に好評であったため、160本準備したバナナは即完売しました。私が売ったバナナを買ってくださいました方へ・・・お味はいかがでしたかな?

買わなきゃ損だよ!



観客を魅了したよさこいメンバー

お盆の法要

私たち「ビハーラ高岡」の普段の活動は月三回施設に寄せていただき入所者の方と一緒に仏教讃歌を歌ったり、手あそびしたりして楽しいひと時を過ごさせていただくことです。人生経験豊かな方々と共に過ごす時間が私たちの喜びとなっています。

七月二日に浄土真宗本願寺派高岡教務所より仏様を迎えてお盆の法要を務めさせていただきました。法話は小矢部市願称寺住職、津山玄亮師に行っていたいただき、子供の七夕の願い事の話から私たちへの仏様の願いについてお話下さいました。

参加していただいた利用者の方々からは「仏様に手を合わせる機会をいただけて本当につれい」と喜んでもらえました。お世話させていただく私たちもたいへんうれしく思いました。これからも末永くお付き合いが出来るようよろしくお願い致します。



仏様に手を合わせる利用者とビハーラスタッフ



南無不可思議光 南無無量寿如来

七夕コンサート

七月十日、多目的ホールにて七夕コンサートを行いました。新湊吹奏楽団十数名が昔懐かしい曲を演奏しました。私自身演奏も久しぶりで、練習不足も重なり皆様にはお聞き苦しいところもあつたかと思えます。演奏中皆様と一緒に手拍子してください、楽しく演奏できたことに団員一同喜んでおりました。昔懐かしい曲が皆様の心の奥底に眠っていた何かを思い出していただければ幸いです。ありがとうございました。

介護職員 津田克敏



主な行事予定

- 9月15日(水)敬老会
 - 19日(日)演奏会
 - 10月1日(金)はまなす(大正琴)
 - 6日(水)運動会
 - 11月6日(土)ゆうゆう祭
 - 10日(水)パネルシアター
 - 12日(金)パネルシアター
- 変更になる場合がありますのでご了承ください。



私事で恐縮ですが先日、六月二十六日に結婚致しました。この度は多くの職員、利用者の方々から祝って頂き、ありがとうございます。二人でこれからも仲良く共に人生を歩んでいきたいと思えます。

介護職員 鷲塚裕之

「水分を取りましよう」

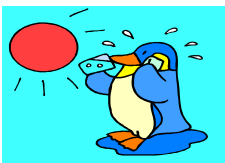
私たちの体は約60%が水分で出来ているそうです。日本は高温多湿なため発汗量が増えると脱水状態となり色々な害が生じます。これを予防するには飲水をすればよいのですが高齢になると脱水が進まないなどの渴きを感じないのです。そのため飲みたい時に水を摂りただけでは失った分よりはるかに少ない量の補給にしかならないのです。

水分補給のポイント)

- 朝晩1杯の水を飲む(習慣的に)
- 1日1Lを目標に
- のどが渇く前に飲む

当施設では食事で平均800〜1000ml、その他に1日6回お茶などで水分の補給をしています。

管理栄養士 上坂優美子



編集後記

ゆうゆうハウスの夏祭りも五回目を数え、利用者やご家族やボランティアの方々のご支援で楽しいひと時を過ごしました。

ちんどんや仮装行列、民謡流し、よさこいソーランなどで盛り上がりました。焼きそば、おでん、生ビールなどの屋台や、射的、水ヨーヨーなどの遊戯でとても賑わいました。

毎日がとても暑く猛暑となりましたが、夏バテしないように水分を多めに取り、元気にこの夏をのりきりましよう。

介護職員 中田友道

介護のポイント

痴呆性高齢者は年々増加し昨今の社会問題となつていきます。そこで今回「痴呆」についてお話しします。



痴呆を知ろう ～痴呆ってこんな病気！～

痴呆は記憶力が悪くなる病気です。
食事をしたばかりなのに「ご飯はまだか？」と言ったり、財布をしまった場所を忘れてしまい「財布がない、誰かがとったんじゃないか？」と被害妄想につながる場合もあります。



もの忘れが、主体となります



* 年をとれば誰でも、もの忘れが出現します。正常高齢者の「ど忘れ」やせん妄、うつ状態などに出現する「もの忘れ」とは区別する必要があります。

* せん妄（軽い意識混濁）は、「抗パーキンソン病薬、抗うつ薬、抗不安薬」などの薬物の影響、薬の組み合わせ、高熱やそれに伴う脱水症状の時などに起こることがあります。

痴呆には、中核症状と周辺症状があります

痴呆の症状には、「記憶力が低下したり、知っている人の名前や自分が今いる場所がわからない」といった中核症状と、中核症状によって二次的に起こると思われる「幻覚、妄想、徘徊」といった周辺症状の2つがあります。

周辺症状は、薬物療法・リハビリテーション・適切な対応で改善することがあります。



うつ症状に注意！

気分の落ち込み、やる気が出ない、眠れない、体がだるいなどの症状が表れることもあります。

痴呆の初期症状とうつ病の初期症状は類似する点が多いので、医療機関で診断してもらい正しい治療を進めましょう。

次回「ケアのポイント」についてお話しします。